

【会議要旨】

会 議 名	令和８年度 第２回３Ｒ推進行動会議
開 催 日 時	令和８年７月１６日（木） 午後２時から午後２時３５分まで
開 催 場 所	港区役所 ９１４会議室
委 員	【出席者】 猿子なおみ委員 船尾豊子委員 原田保子委員 掛林敦子委員 佐藤伸弘委員 中村ゆかり委員（芝地区総合支所協働推進課長） 藤咲絢介委員（産業振興課長） 佐藤雅紀委員（環境課長） 鈴木康司委員（みなとりサイクル清掃事務所長） 【欠席者】 足立夏子座長 櫻林富士子委員 荒木美弥子委員 島村真司委員 棚橋広幸委員
事 務 局	みなとりサイクル清掃事務所 ごみ減量・資源化推進係
会 議 次 第	１ エコライフ・フェアMINATO２０２６の報告について ２ みなと区民まつりの企画案について ３ 今後の予定について ４ その他
配 付 資 料	次第 資料１ エコライフ・フェアMINATO２０２６実施報告 資料２ ２０２６（第４５回）みなと区民まつり出展企画（案） 資料３ 今後の予定
会議の結果及び主要な意見	
事務局	座長が欠席のため、「３Ｒ推進行動会議」設置要綱第５条第２項の定めにより、座長から指名された鈴木委員に座長代理をお願いする。
各委員	（了承）
座長代理	座長の指名により、代理として座長を務めさせていただく。
事務局	【１ エコライフ・フェアMINATO２０２６の報告について】 資料１について説明。 廃食用油回収の啓発を目的に、展示やミッションクリアの抽選会を実施。廃食用油の用語は難しいものも多いので、イラストを使って子ども達にも分かりやすいように工夫した。大人も子どもも展示をよく見てミッションに挑戦していた様子。また回答したミッション用紙は持ち帰ってもらうようにしたことで、

	啓発には効果的だったと思われる。
座長代理	エコライフ・フェアMINATO2026の報告について、意見や質問等があればお願いしたい。 (質問等なし)
事務局	【3 みなと区民まつりの企画案について】 資料3について説明 A案とB案を検討。 A案は、廃棄物を出さずに、資源を循環させ続ける経済システム、サーキュラーエコノミーについて展示。子どもにも分かりやすく説明や例示を展示し、港区や企業の取組事例を紹介することで、サーキュラーエコノミーについて覚えてもらう。 B案は、廃棄物の処理や処分、再資源化を行う産業である、静脈企業（静脈産業）について展示。静脈産業がどのようなものか、なぜ注目をあつめているのかを展示し、港区や企業の取組事例を紹介する。また、サーキュラーエコノミーとも密接に関わっていることを伝える。 どちらの案でも、展示を見てもらった後に、ミッションクリア抽選会を行う。
座長代理	みなと区民まつりの企画案について、意見や質問等があればお願いしたい。
委員	サーキュラーエコノミーは馴染みがない言葉。浸透させるには工夫が必要。
委員	どちらの案もいいが、今回のエコライフ・フェアの展示内容との繋がりを考えるとB案のほうがいいのではないかと。
委員	年間を通した取組として考えるとB案のほうがいい。いろいろなことを幅広く伝えても、浸透させるのは難しい。今年取組として、B案の企画を膨らませるといいのではないかと。
事務局	サーキュラーエコノミーは大切な概念ではあるが、まだ耳慣れない言葉ではある。
委員	どちらかだけの案を選ばなくてもいいのではないかと。B案だとしてもサーキュラーエコノミーは関わってくる。B案を主にして、その中にA案を盛り込んではどうかと。
座長代理	いまの意見をもとに、企画を更に検討し実施してもらいたい。
事務局	【3 今後の予定について】 資料2について説明。 ・リユース♡ブリッジを2部構成で開催。第1部は定員を超える応募があり、落選者があったが、希望者には第2部に参加してもらえようにした。 ・段ボールコンポストを8月に芝の家、9月に麻布運動場で開催する。生ごみを堆肥にするもので、講座では動画で作り方などを学んでもらう。手軽にでき

座長代理 委員	るが、堆肥の使い道があまりないという問題もある。今年度は4回の開催予定。すでに6月と7月に開催したが、いずれの参加者も定員を下回っている。 ・2026みんなと3Rパネル展は、11月にみなとパーク芝浦で開催予定。展示内容は未定。多くの団体の方に展示をお願いしたいと考えている。 今後の予定について、意見や質問等があればお願いしたい。 段ボールコンポストでたい肥を作っても、使う場所がない。家で使うとしても少量。作った物を集めて活用してもらえるのであれば、作る人も増えるのではないか。
委員	公園などで使ってもらえるといいのでは。まちづくり課なども含めて検討できないか。
委員 事務局 委員	堆肥を回収するだけでも難しそうではある。 回収できる場所もなく、活用も難しいという現状ではある。 みんなと3Rパネル展は、展示日程も内容も未定だが、開催までに委員の意見を聞く場が無い。みなと区民まつりも委員の意見を出した後、具体的な提案がないまま展示になってしまう。もう少し委員の意見を出せるようにし、意見を反映できる機会があったほうがいい。
委員 事務局	パネル展の参加団体からすると、準備もあるので早めに詳細を伝えてもらいたい。 今後の企画の提案方法など、検討していきたい。パネル展は、日程などが決まり次第お伝えする。
事務局	【5 その他】 ・みなと区民まつりにボランティアとして参加していただける方は、8月20日までに連絡をお願いしたい。 ・次回の3R推進行動会議は11月の予定。区議会の関係により日程は未定となっているが、決まり次第通知する。
座長代理	会議は以上で終了とする。



令和8年度第2回3R推進行動会議

次 第

1 開催日時

令和8年7月16日（木） 午後2時から午後3時

2 会 場

港区役所 9階 914会議室

3 議 事

（1）エコライフ・フェアMINATO2026の報告について

（2）みなと区民まつりの企画案について

（3）今後の予定について

（4）その他

（配付資料）

- ・資料1 エコライフ・フェアMINATO2026実施報告
- ・資料2 2026（第45回）みなと区民まつり出展企画（案）
- ・資料3 今後の予定

エコライフ・フェアMINATO2026実施報告

1 イベント概要

日 時：令和8年5月16日（土）10：00～15：00

場 所：港区立有栖川宮記念公園（南麻布五丁目7番29号）

天 候：晴天

テーマ：廃食用油の回収に協力しよう

展示概要：

- ① 廃食用油の回収についての案内パネル
- ② 「フードドライブの受付（清掃事務所の担当）」
- ③ 食品ロス削減に関するパネル、3Rキャラクター大型パネルの展示
- ④ 集客を増やす目的で「抽選(ガラポン)」を実施
- ⑤ 3Rキャラクターと一緒に写真が撮れるフォトスペース(顔出しパネル)設置

ブース来場者：498名

ブースレイアウト





2 実施内容

今回のテーマ「廃食用油の回収に協力しよう！」を中心に、パネルの展示、ミッションクリア抽選会を実施しました。

具体的には、①廃食用油の意味、②どのように油を回収場所へ持っていったらいいか、③区の回収場所案内について、わかりやすく3枚のパネルにして展示しました。

ブース来場者には、廃食用油に関する区の取組を認識していただくことを目的に、「ミッションクリア抽選会」を行いました。ミッションは2つで、①最寄りの回収場所がどこか、②廃食用油はリサイクルで何になるかについて、アンケート形式で回答してもらいました。

ミッションは、展示を見れば答えがわかるようにし、ミッションの用紙にチェックして、間違っていれば正しい回答を伝えるようにしました。ガラポンは正解不正解にこだわらず、回せるようにしました。

昨年度は、抽選場所で答え合わせをしていましたが、今年は紙にイラストで描かれた選択肢にチェックを鉛筆で入れて、持ち帰っていただくようにしました。「廃食用油」に関する用語は、小学生などの児童には難しいものが多いため、イラストで分かりやすくしました。

大人も子どもも、パネルを見ながら確認、理解して抽選していたので、かなり効果的だったと思われます。

景 品

1等	オリジナル傘づくりキット 8色マジックつき
2等	廃油まぜたらせっけん または パストリーゼ
3等	令和の紙風船 清掃車のペーパークラフト
4等	3Rキャラクター・シール
5等	ボールペン ・アップサイクル品（食環協） ・ノベルティ品（全清連） ・リユースケのシャーペン ・鉛筆
6等	風船&木製スティック

3 パネル等

廃食用油の説明



廃食用油からできるもの



回収場所の案内



ミッション用紙



4 当日の様子



入口



3 R 推進行動会議の説明



廃食用油の説明パネル 配布物



フードドライブ受付



抽選の景品展示



フォトスペース



食品ロスパネル

2026（第45回）みなと区民まつり出展企画（案）

日 時： 令和8年10月10日（土）11：00～17：00
 10月11日（日）10：00～16：00

場 所： みなと区民まつり増上寺エリア（芝公園三丁目3番）

テーマ： つながる港区 ひらく未来

■ 会場図（予定）



【昨年度の様子】



※ブース入場者数 土曜：797名 日曜：1,169名

A案

3Rの発展形！最新トピック

サーキュラーエコノミーについて覚えよう

サーキュラーエコノミー（循環型経済）とは、廃棄物やゴミを出さず、あらゆる資源をぐるぐると循環させる新しい経済システムのことです。従来は「作って・使って・捨てる（リニアエコノミー）」の一方通行でしたが、サーキュラーエコノミーは最初からゴミを出さない設計を行い、資源を再利用し続ける持続可能なモデルを目指すのです。

- サーキュラーエコノミーとは？ 子どもにもわかりやすい説明パネル展示
- サーキュラーエコノミーとリサイクルの違いは？ 説明パネル展示
- サーキュラーエコノミーの例示（次の中から、パネル制作おびサンプル展示）

港区の 取組事例

★港区が行っていること
「港区自転車シェアリング」
「食べきり協力店」
「フードドライブ」
「家具リサイクル展」
「リユース食器貸出」
「水辺のまち サーキュラーLAB.」

（芝浦港南エリアの運河の水質をきれいにする）



企業取組事例

株式会社ナイキジャパン（港区赤坂）
廃材をリサイクルしてつくったシューズ等の販売
株式会社 hide kasuga1896（港区元赤坂）
リサイクル性の高い木由来の複合材
「TRANSWOOD（トランスウッド）」の食器等
帝人フロンティア株式会社（大阪）
「繊維 to 繊維」リサイクルの技術開発等
（↑令和7年度の協力企業）

- ミッションクリア抽選会で答え合わせ

B案

3 Rの立役者!

縁の下の力持ち・静脈企業(静脈産業)について知ろう

静脈産業とは、経済活動を血液循環に例えた表現で、廃棄物の処理・処分、再資源化を担う産業の総称です。対語として、製品を作り出す産業を「動脈産業 (arterial industry)」と表現されます。

■静脈産業とは？ 子どもにもわかりやすい説明パネル展示

日本国内の状態 食品ロス焼却 464 万トン

プラスチック焼却 約 709 トン (廃プラの約 8 割)

循環経済に関する関係閣僚会議 (第 4 回) (令和 8 年 4 月 2 1 日) 資料) より

■なぜ、いま静脈産業が注目を集めているのか？

静脈産業は循環型社会の実現において、欠かせない存在。近年では、サーキュラーエコノミーへの移行が政策的にも重視され、その動きと密接に関わっています。

■静脈産業の例示 (次の中から、パネル制作およびサンプル展示)

港区の企業例

新井紙材株式会社 (港区麻布十番)

古紙リサイクル・資源回収

※子会社・サーキュラーエコノミードット東京で
サーキュラーエコノミーの啓発活動に取り組む。

TRE ホールディングス株式会社 (芝公園)

国内最大規模の環境・リサイクル企業

港区の 静脈事業例

★港区が行っていること

みなとりサイクル清掃事務所のごみ処理

施設の紹介、回収拠点など

「フードドライブ」

「家具のリサイクル展」

「リユース♡ブリッジ」 など

■ミッションクリア抽選会で答え合わせ

今後の予定

1 リユース♡ブリッジ（子ども服の交換会）

開催日時： 令和8年7月18日（土）

第1部 午前10時～午前10時45分

第2部 午前11時15分～正午

開催場所： 港南区民協働スペース

募集人数： 各20組

2 段ボールコンポスト講座

① 開催日時： 令和8年7月25日（土） 14時～14時45分

開催場所： 芝の家

募集人数： 10人

② 開催日時： 令和8年8月19日（水） 1回目 15時～15時45分

2回目 16時～16時45分

開催場所： 麻布運動場

募集人数： 各15人

3 2026みんなと3Rパネル展

開催日時： 令和8年11月 10日間程度

開催場所： みなとパーク芝浦1階アトリウム

展示内容： 未定

【昨年度の展示内容】

リサイクルをテーマに最新の取組事例を展示

展示団体：みなとりサイクル清掃事務所

東京二十三区清掃一部事務組合

港区消費者団体連絡会

公益社団法人食品容器環境美化協会

一般社団法人Textile Circular Network

一般社団法人 全国清涼飲料連合会

株式会社UACJ